

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	041 小学校校舎大規模改造事業（空調）				
担当部	060000 教育委員会		課・室	060101 総務課（教）	所属長名	大城 清太	

(1) 基本情報

基本目標		001 人や文化のつながるまち（教育と文化）	施 策	003 学校教育の充実	
事務事業期間		令和02年度 ～ 令和02年度	会計種別	01 一般会計	
経費の性質		6 投資的経費	実施計画対象	1:対象	
事業概要 要	実施方法	補助金・負担金	実施根拠 (法令や条例等)	・文部科学省 学校安全環境衛生基準	
	目 的	・沖縄県の夏場における教室内の温度は30度を超える日が多いこともあり、児童の熱中症の予防対策は喫緊の課題でありますので、老朽化した既設の冷房設備を改修し、教室内環境の改善を図って行きます。			
	対 象	・小学校の特別教室等の老朽化した既設の冷房設備の改修			
	活動内容	・糸満南小学校、高嶺小学校、喜屋武小学校及び光洋小学校の老朽化した既設の冷房設備を新しい機器に更新します。			
	意図（成果）	・夏場の教室内の環境を改善することにより、児童の安全安心の確保並びに学習意欲の向上が期待できます。			

(2) コスト及び成果

	単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	千円	0	32,274	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標				この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由		成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
普通・特別教室の空調整備	室	心身の安全安心及び学習環境の向上		普通・特別教室の空調整備	室	空調設備の更新により、児童・教職員の安全安心が確保されるため
管理諸室の空調整備	室	心身の安全安心及び執務環境の向上		管理諸室の空調整備	室	空調設備の更新により、教職員の安全安心が確保されるため

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
普通・特別教室の空調整備	室		計画値	0	7	0	0	0
			実績値	0	7	0	0	0
	室		計画値	0	7	0	0	0
			実績値	0	7	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
普通・特別教室の空調整備	室		計画値	0	16	0	0	0
			実績値	0	16	0	0	0
	室		計画値	0	16	0	0	0
			実績値	0	16	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	☐ 目的は明確で上位の施策に結びついている ☒ 目的は上位の施策に結びついていない ☐ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・夏場における教室内の暑さから児童の熱中症を予防するうえで、空調設備の導入は効果が大きいです。
	②行政が関与する妥当性	☒ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ☐ 国、県、市の協調によるもの ☐ 民間ではできない、または民間では実施していない ☐ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ☐ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・糸満市立学校設置条例 ・文部科学省 学校環境衛生基準 ・児童の安全安心の確保は、学校設置者の義務であります。

必要性	③市民ニーズ	☐ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ☒ 市民ニーズが増加傾向にある ☐ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ☐ 市民ニーズが減少傾向にある ☐ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・児童の各家庭における冷房設備は普通に設置されていると考えられることから、保護者から学校施設の教室への冷房機の設置の要望は高いものがあります。
	④現時点での優先性や緊急性	☐ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ☒ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ☐ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ☐ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ☐ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・沖縄県の夏場における教室内の暑さは30度を超える日が多いこともあり、児童の熱中症の予防対策は喫緊の課題でありますので、緊急性は高いものと考えています。

公平性	⑤受益者負担は適切か	☐ 広く市民を対象としていることから適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ☒ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ☐ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・憲法第26条第2項の規定により、義務教育は無償となっています。

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているかどうか	☐ かなり削減できている ☒ ある程度削減できている ☐ あまり削減できない ☐ 削減できない ☐ 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・国の補助採択を受けて実施していますので、市の財政負担を軽減しています。 補助率：普通教室 1/2、その他 1/3 <tr><td></td><td></td></tr>		

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	☒ 目標を上回る ☐ 目標を概ね達成している ☐ 目標をやや下回る ☐ 目標を下回る ☐ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・空調設備の導入は、初期導入コスト、ランニングコストなどの市民の負担が増えますので、学校側の節約意識の向上が求められます。 <tr><td></td><td></td></tr>		

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 2. 必要性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 3. 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 4. 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 5. 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直しでD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり A
所属長所見 ☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 改善 ☐ 民間委託 ☐ 統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）